

令和7年度 第1回 福知山市環境審議会 議事録

日時：令和7年5月8日（木）10時～12時00分

場所：福知山市環境パーク 2階 会議室

（委員）※敬称略

| | |
|--------|--------------------------|
| 大脇 成義 | 京都府中丹西保健所 技術次長 |
| 入海 健一 | 一般社団法人 福知山医師会 理事 |
| 中尾 誠二 | 福知山公立大学 教授 |
| 的場 信敬 | 龍谷大学 教授 |
| 柳井津 佑健 | 福知山商工会議所 専務理事 |
| 衣川 浩行 | 福知山市商工会 事務局長 |
| 嵯峨根 正和 | 一般社団法人 長田野工業センター 専務理事 |
| 横田 将吾 | 一般社団法人 福知山青年会議所 理事長 |
| 松原 斎樹 | 京都府地球温暖化防止活動推進センター センター長 |
| 平田 浩之 | 市民公募委員 |
| 森田 雅子 | 市民公募委員 |

（事務局）

| | |
|-------|-----------------------|
| 西畑 信寿 | 産業部長 |
| 山田 信義 | 産業部次長兼エネルギー・環境戦略課長 |
| 足立 訓章 | 産業部エネルギー・環境戦略課 企画係長 |
| 飯田 将太 | 産業部エネルギー・環境戦略課 企画係 主査 |
| 元島 弘貴 | 産業部エネルギー・環境戦略課 企画係 主事 |
| 大橋 祐斗 | 産業部エネルギー・環境戦略課 企画係 主事 |

（担当課）

| | |
|--------|----------------------------|
| 山本 美幸 | 市民生活部長 |
| 田和 昌弘 | 市民生活部次長兼生活環境課長 |
| 浪江 一平 | 市民生活部生活環境課課長補佐兼 環境・廃棄物対策係長 |
| 辻原 健太郎 | 市民生活部生活環境課環境・廃棄物対策係 主査 |
| 築瀬 丞 | 市民総務部生活環境課環境・廃棄物対策係 主事 |

| | |
|-------|-----------------------|
| 足立 譲治 | 産業部次長兼農業振興課長 |
| 西村 優一 | 産業部農業振興課畜産・有害鳥獣対策係長 |
| 森岡 佳祐 | 産業部農業振興課畜産・有害鳥獣対策係 主査 |

□□□ 次 第 □□□

- 1 開会のあいさつ
 - ・事務局体制の報告
- 2 諮問
 - ・福知山市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画2021）中間見直し計画について
- 3 審議事項
 - ・（1）福知山市持続可能なエネルギー・環境共創プラットフォームについて
 - ・（2）特定外来生物クビアカツヤカミキリについて
- 4 報告事項
 - ・中丹地域有害鳥獣処理施設における燃えがらからの六価クロム化合物の検出について
- 5 その他
 - ・福知山市環境審議会の令和7年度年間スケジュール
- 6 閉会

議事概要

○開 会

挨拶 福知山市 産業部部長 西畑信寿

体制の報告 福知山市 産業部次長兼エネルギー・環境戦略課長 山田信義

○議 事

諮問 福知山市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画 2021）中間見直し計画について

1 生活環境課より資料 1-1 にて説明

2 諮問文の提出

3 生活環境課より資料にて説明

4 委員からの意見、質問

- ・子どもたちへの教育という部分について、どのように組み込むことを考えられているのか？

→市立小学校との協働により、小学校4年生社会科学習過程「私たちの生活とごみ」と連携した学習教材を作成し、ゴミ問題を自分ゴトとして身近に考えるきっかけを作るなど環境学習を行う。

- ・食用油を回収・リサイクルという内容について、これまでも天ぷら油や食用油の回収をされてきたと思うが、これまで回収していた油はどのように活用のされてきたのか。

→これまでは福知山環境会議の活動として回収を行ってきた。「丹後の自然を守る会」に協力いただき、カバタプランニングで回収。回収した油はバイオディーゼル燃料（BDF）として、トラクターなどの燃料に利用されてきた。

審議事項（1）福知山市持続可能なエネルギー・環境共創プラットフォームについて

1 エネルギー・環境戦略課より資料 2 にて説明

2 委員からの意見、質問

- ・DX、GX など難しい言葉は意味が伝わりにくいこともあるので、注意が必要。
- ・何をしているところなのか外からもわかるような外向きの広報をする必要がある。
- ・森林管理によるカーボンクレジットに関して、共有林も規模としては大きな森林になると思うので、活用の検討を進めてはどうか。

- ・分科会は概ね業種で分かれているため、他の分科会や事業者さんがどのような取組をされているのか知りたいという声がある。情報提供する場を設けてはどうか。
- ・今後の会費導入検討について、利益が出てビジネスにつながる事業者からの会費と環境保全や人材育成などボランティア活動を中心にした分科会の方からの会費を同じように取るのは難しいので、整理が必要である。
- ・市民の方が活動された際にインセンティブのような仕組みはあるのか。なければどのようなインセンティブが地域のためになるのか検討が必要。
- ・福知山市のエネルギー・環境施策を推進していくために作った組織であることを考えると公的な活動であり、会費については、慎重な議論が必要。会費を取るなら何かしらのメリットが明らかになっている必要がある。
- ・自立的な活動という部分について、事務局は主管課が担い実行されている。運営自体に公的な予算がついておかしくない仕組みなので、プラットフォームの立ち位置を考えておく必要がある。
- ・分科会の議論に市は事務局として参加しがちであるが、事業者として同じ立場で参加し議論するほうが良い。計画を作った行政が、どう考えているのかを出せる分科会であれば、より活発になるのではないかと。

審議事項（２）特定外来生物クビアカツヤカミキリについて

１ エネルギー・環境戦略課より資料３により説明

２ 委員からの意見、質問

- ・啓発が重要であり、通報してもらうところまで啓発する必要がある。
- ・補助金について、学校や団体においては、樹木自体が重要なものなので、補助金を活用し、対策しやすい。一方で、民地でも発生するものであり、少しでも負担があると防除はしないという人も出てくる可能性がある。100%補助が難しいのは理解しつつもそのあたりの対策が必要になるのではないかと。

報告事項 中丹地域有害鳥獣処理施設における燃えがらからの六価クロム化合物の検出について

１ 農業振興課より資料４により説明

２ 委員からの意見、質問

- ・六価クロムが基準値を超えたことの原因が五徳であるとされているが、六価クロムフリーのものに交換されたにも関わらず、六価クロムがゼロになっていないのであれば、原因は他にあるのではないかと。

→原因究明について、温度の記録は課内で把握しており、10年間運転している中で初めて基準を超えたため、専門家の話を聞き、判断したところである。五徳の中にステンレ

スが入っていたので、それが原因ではないかということで、1つずつ原因を当たっていき
く中で、数値が1.5以下に下がったため、原因がこれではないかと判断した。

クロムフリーの五徳を使えば、ゼロになるということは我々も考えたが、製造部材の中
身にステンレス部材が使用されていないとしても、五徳の製造過程で焼き付けることにより
微量のクロム含量が含まれると0.00にはならないということを聞いている。

原因が他にあれば、さらに改修等検討し、稼働の停止をしなければならないと地元にも
説明をさせていただいた。

- ・維持管理をする上で、焼却炉でステンレス製の五徳を使って、六価クロムが発生するとい
うのは、初歩中の初歩であり、専門知識を把握している事業者により管理されているのか。
→委託業者が心配かどうかではなく、近隣の方のご不安があるというところが一番大事で
あると考えている。再稼働後は、1日1回焼却をするが、焼却ごとに燃えがらの検査を
行い、随時数値を確認することとしている。
- ・厳しく言うと、民間施設なら再稼働できていない。原因追及と運転管理、積み重ねていか
なければ、再稼働するには少し早いというか、結果がまだわかっていないかと感じた。
- ・一般処理基本計画の中にも位置付けられている処理であり、市としてしっかり対応を願
いしたい。
- ・燃えがらの検査に加えて、集塵機で取り除かれる煤塵や処分場の放流水の検査についても
配慮いただきたい検査も今後、継続していくことが必要。

その他 福知山市環境審議会の令和7年度年間スケジュール

- 1 エネルギー・環境戦略課より資料5にて説明

○閉 会

挨拶 産業部次長兼エネルギー・環境戦略課長 山田 信義